



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月25日

上場会社名 株式会社スペースシャワーネットワーク 上場取引所 東
 コード番号 4838 URL <https://www.spaceshower.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 正司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北島 直樹 TEL 03-3585-3242
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,747	12.6	9	△75.2	14	△65.3	△4	—
2019年3月期第1四半期	3,328	0.6	39	△80.0	42	△79.5	31	△78.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △15百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 31百万円 (△78.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△0.41	—
2019年3月期第1四半期	2.82	—

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期第1四半期 △16百万円 2019年3月期第1四半期 △1百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,626	4,313	56.6
2019年3月期	8,029	4,442	55.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 4,313百万円 2019年3月期 4,432百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	8,818	19.4	235	△0.9	239	△0.3	123	△22.1	10.86
通期	16,427	10.0	212	△18.1	235	△18.7	120	△18.4	10.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	11,330,800株	2019年3月期	11,330,800株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	3株	2019年3月期	3株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	11,330,797株	2019年3月期1Q	11,330,800株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、非製造業においては内需の底堅さが見られるものの、製造業においては慎重な見方が増加してきていることに加え、米中貿易摩擦による海外経済の減速懸念など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

また、当社グループの事業に関連する、放送、音楽、エンタテインメントの各業界においては、市場環境や消費者ニーズが急速な変化を進めており、とりわけ、デジタル化やグローバル化の進展に伴う事業環境の激変は、当社の既存ビジネスである有料放送事業や音楽CD/DVD販売事業において、大きな影響を及ぼしつつあります。

こうした環境の下、当社グループでは、創業以来行ってきた音楽映像コンテンツの企画制作及び有料多チャンネル放送プラットフォームにおける音楽専門チャンネルの運営をベースとしつつ、ライブイベント展開、デジタルコンテンツ制作や各種デジタルサービス展開、音楽レーベルからアーティストマネジメントに至る展開まで、当社グループが有するあらゆる機能を複合的に活用しながら、多様なメディア・コンテンツ事業を展開し、音楽エンタテインメント企業へと事業転換を図ってまいりました。また、ファンクラブ事業を展開するコネクトプラス㈱、コンセプトカフェ運営を行うインフィニア㈱、映像制作プロダクションの㈱セップ、老舗インディーレーベル運営の㈱Pヴァイン、2019年3月に新たにグループに加わったインフルエンサーマーケティング事業を行うGROVE㈱、これら連結子会社とともに、新たな分野での成長施策の推進、事業領域の拡大に向けた企業グループ経営を推進しております。

当第1四半期連結累計期間においては、2019年4月1日より、全日本空輸㈱が提供する国内線の機内にてリアルタイムテレビ番組を視聴できる「ANA SKY LIVE TV」において、「スペースシャワーTV」の供給を開始致しました。

また、2019年5月28日、当社とビルボードジャパン、音楽ストーリーミングサービス12社が一堂に会し、リスナーを主役として新しい音楽のトレンドを生み出すプロジェクト「NOW PLAYING JAPAN」の第3弾となるライブを開催、各ストーリーミングサービスにおいて、ライブ出演アーティスト自身によるプレイリスト公開など、イベントと連動した企画を展開いたしました。

加えて、2019年6月に、当社グループのインフィニア㈱の運営するコンセプトカフェ「@ほお〜むカフェ」が、関西初出店となる大阪本店をオープン、ポップカルチャー市場におけるさらなるポジション獲得に向けた布石を打ちました。

これら取り組みの結果、売上高は3,747,793千円と前年同期比419,529千円増（同12.6%増）となりました。しかし、有料放送チャンネルの高画質化によるコストの増加や、「@ほお〜むカフェ」大阪出店に伴う一時コストの計上などにより、営業利益は9,862千円と前年同期比29,973千円減（同75.2%減）、経常利益は14,866千円と前年同期比27,986千円減（同65.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は4,677千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益31,932千円）となりました。

引き続き、定額聴き放題のサブスクリプション音楽配信サービス、ポップカルチャー市場を始めとする成長市場でのポジショニング確立に向けた取り組み、映像コンテンツのマルチウィンドウ展開への取り組み、ヒットの創出に向けた取り組みを推進してまいります。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①メディア・コンテンツ セグメント

当セグメントにつきましては、音楽チャンネル運営を中心とするメディア事業、イベント・コンテンツプロデューサー事業、アーティストマネジメント事業、レーベル・ディストリビューション事業、及び「WWW」「WWW X」を運営するライブハウス事業などの事業ユニットを中心に、連結子会社(株)Pヴァインのレーベル事業、コネクトプラス(株)のファンクラブ事業、インフィニア(株)のコンセプトカフェ事業、GROVE(株)のSNSマーケティング事業等を加えて、各事業分野の成長施策の推進にあっております。

メディア事業においては、2018年10月からの「スペースシャワーTV」高画質化に伴う衛星回線利用料の増加分が通年計上となることにより前年同期比で減益となりました。レーベル・ディストリビューション事業においては、定額聴き放題のサブスクリプション音楽配信市場の拡大により、前年同期比増収増益となりました。また、ライブハウス事業においても、好調な稼働率に牽引され、前年同期比増収増益となりました。

その他、インフィニア(株)が運営する「@ほお〜むカフェ」につきましては、引き続き好調な集客に加え、大阪本店の開店により、売上高は前年同期を上回ったものの、大阪出店に伴う一時費用の計上により経常利益については、前年同期を下回りました。また、2019年3月に新たにグループに加わったGROVE(株)につきましては、セグメント売上高の前年同期比増に大きく寄与したものの、企業としての成長フェーズにあることから生じる先行投資的コストにより、セグメント利益への貢献には至りませんでした。

この結果、当セグメントの売上高は3,463,033千円と前年同期比366,822千円増（同11.8%増）となり、経常利益（セグメント利益）につきましては57,547千円と前年同期比18,044千円減（同23.9%減）となりました。

②映像制作 セグメント

当セグメントにつきましては、大型LIVE映像制作や企業映像制作案件の受注が好調に推移したことなどにより、売上高は284,759千円と前年同期比52,707千円増（同22.7%増）となり、経常利益（セグメント利益）につきましても4,320千円と前年同期比3,209千円増（同288.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、主に仕掛品が55,530千円、その他(流動資産)が163,403千円、建物及び構築物が55,221千円増加し、一方で現金及び預金が154,333千円、受取手形及び売掛金が481,135千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ402,207千円減少し、7,626,950千円となりました。

負債につきましては、主に預り金が56,024千円増加し、一方で未払金が61,961千円、賞与引当金が114,597千円、その他(流動負債)が67,803千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ273,294千円減少し、3,313,341千円となりました。また、純資産は利益剰余金が前連結会計年度末に比べ117,985千円減少したことなどにより、4,313,608千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、概ね予想通りに推移しており、2019年4月26日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,689,811	2,535,478
受取手形及び売掛金	2,074,740	1,593,605
商品	248,169	251,785
仕掛品	134,797	190,327
貯蔵品	9,319	10,567
その他	269,513	432,916
貸倒引当金	△53,277	△47,267
流動資産合計	5,373,074	4,967,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,234,864	1,290,086
機械装置及び運搬具	32,982	34,000
工具、器具及び備品	654,802	681,212
土地	72,455	72,455
リース資産	138,319	138,319
建設仮勘定	2,300	4,309
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,172,969	△1,212,164
有形固定資産合計	962,756	1,008,219
無形固定資産		
のれん	227,252	208,148
商標権	150,405	147,603
ソフトウェア	95,004	109,391
ソフトウェア仮勘定	2,137	3,887
その他	11,261	14,103
無形固定資産合計	486,060	483,135
投資その他の資産		
投資有価証券	278,840	266,911
敷金及び保証金	350,915	349,119
繰延税金資産	481,274	464,378
その他	131,249	123,142
貸倒引当金	△36,305	△36,494
投資その他の資産合計	1,205,974	1,167,057
固定資産合計	2,654,791	2,658,411
繰延資産	1,292	1,124
資産合計	8,029,158	7,626,950

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,302,427	1,267,457
リース債務	13,345	13,392
未払金	380,811	318,850
未払法人税等	60,058	24,823
預り金	418,583	474,608
賞与引当金	159,846	45,248
役員賞与引当金	20,480	1,018
返品調整引当金	60,997	61,454
売上割戻引当金	257	211
その他	173,322	105,519
流動負債合計	2,590,130	2,312,583
固定負債		
リース債務	47,224	43,859
退職給付に係る負債	743,272	745,512
役員退職慰労引当金	187,329	193,303
その他	18,678	18,082
固定負債合計	996,505	1,000,757
負債合計	3,586,636	3,313,341
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,920,579	1,920,579
資本剰余金	977,399	977,399
利益剰余金	1,533,993	1,416,007
自己株式	△1	△1
株主資本合計	4,431,969	4,313,983
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77	△374
その他の包括利益累計額合計	77	△374
非支配株主持分	10,475	—
純資産合計	4,442,522	4,313,608
負債純資産合計	8,029,158	7,626,950

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	3,328,263	3,747,793
売上原価	2,505,063	2,821,551
売上総利益	823,200	926,242
返品調整引当金繰入額	4,528	457
差引売上総利益	818,671	925,785
販売費及び一般管理費	778,835	915,922
営業利益	39,835	9,862
営業外収益		
受取利息	—	2
受取配当金	582	582
受取賃貸料	435	435
業務受託手数料	2,951	2,501
諸預り金戻入益	917	13,805
雑収入	1,119	5,113
営業外収益合計	6,006	22,440
営業外費用		
支払利息	211	203
持分法による投資損失	1,305	16,377
株式交付費償却	1,146	—
為替差損	309	591
雑損失	15	264
営業外費用合計	2,989	17,436
経常利益	42,853	14,866
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	42,853	14,866
法人税、住民税及び事業税	6,332	12,924
法人税等調整額	4,588	17,095
法人税等合計	10,920	30,019
四半期純利益又は四半期純損失(△)	31,932	△15,152
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△10,475
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	31,932	△4,677

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	31,932	△15,152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△452
その他の包括利益合計	—	△452
四半期包括利益	31,932	△15,605
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,932	△5,130
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△10,475

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	映像制作	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,096,211	232,052	3,328,263	—	3,328,263
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	14,561	14,561	△14,561	—
計	3,096,211	246,614	3,342,825	△14,561	3,328,263
セグメント利益	75,591	1,111	76,703	△33,850	42,853

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等△33,850千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	映像制作	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,463,033	284,759	3,747,793	—	3,747,793
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	9,454	9,454	△9,454	—
計	3,463,033	294,214	3,757,248	△9,454	3,747,793
セグメント利益	57,547	4,320	61,868	△47,001	14,866

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等△47,001千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。